



平成 21 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 不二サッシ株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 吉本 直史
 (コード番号 5940 東証2部)
 問 合 せ 先 経 理 部 長 鈴木 辰男
 (TEL: 03-5745-1212)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成21年5月14日の決算発表時に公表した平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	105,000	1,600	900	400	5円78銭
今回修正予想 (B)	95,500	700	50	△500	△5円09銭
増減額 (B-A)	△9,500	△900	△850	△900	—
増減率 (%)	△9.0	△56.3	△94.4	—	—
(ご参考) 前期実績(平成21年3月期)	109,191	△1,989	△2,561	△4,469	△64円63銭

(金額の単位: 百万円)

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	66,500	1,300	800	650	9円40銭
今回修正予想 (B)	60,000	400	20	△500	△5円09銭
増減額 (B-A)	△6,500	△900	△780	△1,150	—
増減率 (%)	△9.8	△69.2	△97.5	—	—
(ご参考) 前期実績(平成21年3月期)	64,810	△1,098	△1,462	△2,752	△39円80銭

(金額の単位: 百万円)

2. 修正の理由

昨年来の世界的な経済環境の悪化に伴い設備投資の抑制や不動産業界、マンション業界の低迷が長期化し、建築需要の減少は著しく、受注競争が一段と激化するなど当社グループを取り巻く事業環境は極めて厳しい状況にあります。

このような状況のもと、設備投資や経費の抑制、固定費の削減などの施策を実施してまいりましたが、大幅な受注の減少により売上、利益ともに当初計画を大きく下回る見込みとなりました。この想定を超える事業環境の悪化に対応するには、一層の経営合理化を行うことが不可欠であると判断し、一時帰休の実施や希望退職を含む人員削減等の合理化、役員報酬の減額幅の拡大など新たな経営合理化策を策定し、平成21年10月26日に「経営合理化の取り組みに関するお知らせ」として公表しました。今回の業績予想の修正値は、その施策の改善効果を見込んで作成したものであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上